

## 1 この資料について

この資料は『CMS Designer』のインストール方法および各種設定方法について説明します。

CMS Designer そのものについての詳細は、Web サイトをご覧ください。

<http://cms.al-design.jp/>

## 2 動作環境

CMS Designer は以下の環境に設置して動作させることができます。

- PHP 4.3.0 以上、又は PHP5 が動作するサーバ
  - ※XML-DOM、XLST のサポート、マルチバイト対応正規表現ライブラリが必要。
  - ※サムネイル機能を使う場合は gd2.0 以上のサポートが必要。

ご利用のサーバにて CMS Designer が動作可能かを確認するツールを用意しました。

こちらから「check.zip」をダウンロードしてご利用ください。

<http://cms.al-design.jp/download.html>

ダウンロード後、check.zip 中の check.php を取り出し、サーバ上のお好きな場所で実行して下さい。結果が「OK」の場合、次へお進み下さい。もし結果が「NG」の場合は画面の指示に従って下さい。

※「OK」の場合でも必ず動作することを保証するものではありません。確実に動作するかは実際にインストールしてお試し下さい。

※インストール後、「文字化けする」「真っ白な画面で何も表示されない」等の症状が出た場合、XSLT ライブラリとサーバ設定の相性の問題である可能性があります。リファレンスマニュアル「7. 2 XSLT ライブラリが原因のトラブル対処方法」を参考に設定を変更してみてください。

## 3 インストール方法

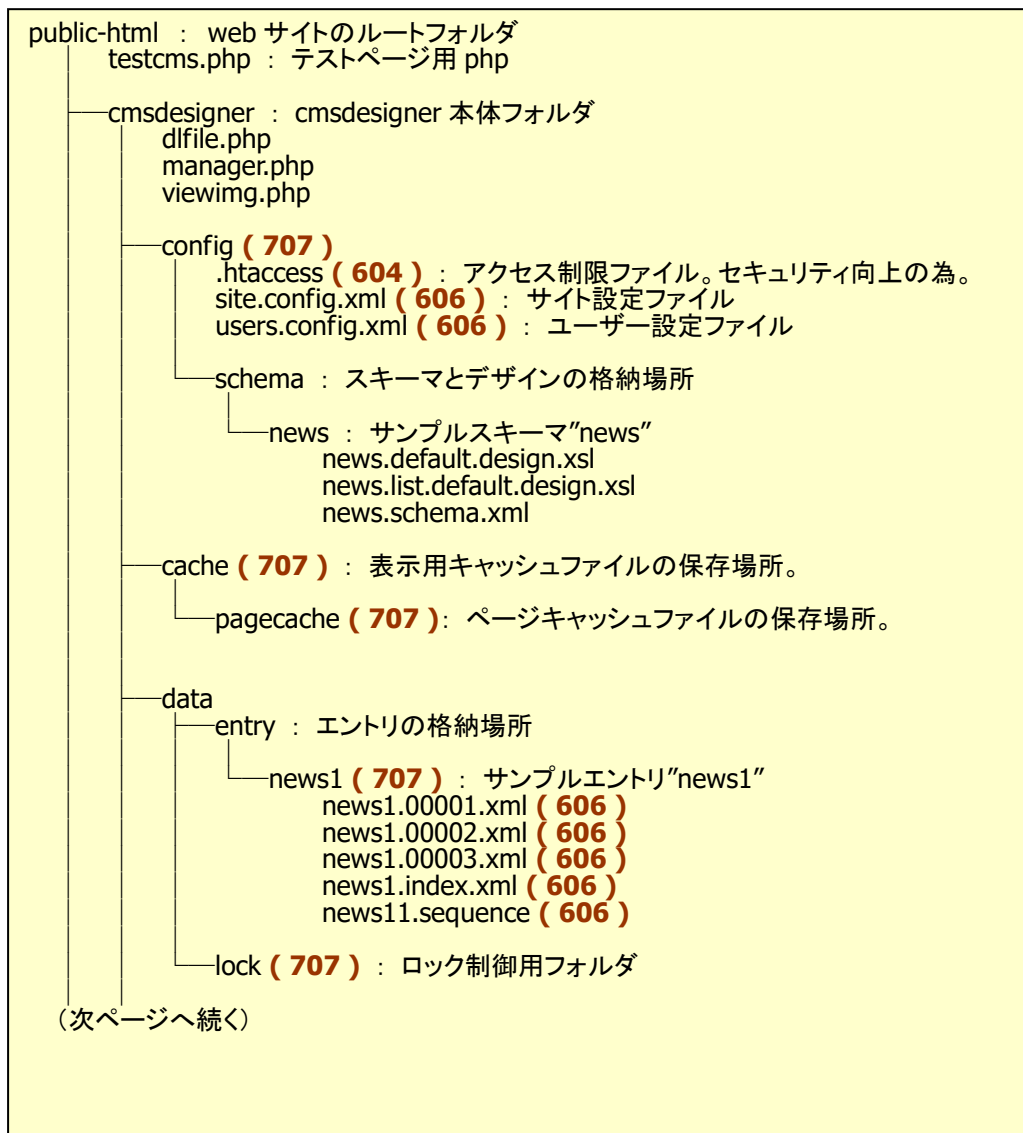
(1) 以下のサイトから **CMS Designer** を入手してください。

<http://cms.al-design.jp/download.html>

(2) 入手した zip ファイルを解凍し、**web** サイトに以下のように配置してください。

CMS Designer のインストールは、通常の CGI と同様にサーバにファイルをアップロードしてからパーミッション指定をするだけです。インストールしたからといってサーバ上の他のページには影響しませんので、既に稼働中のサイトにも安心してインストールできます。

ファイルを解凍した内容を、そのまま FTP ソフトなどでサイトにアップロードし、指定のパーミッションを設定してください。



(前ページからの続き)

- ckeditor
  - ckeditor.js (ダミーファイル)
  - config\_cmsd.js (CKeditor の CMSD 用設定ファイル)
  - howtouse\_ckeditor\_for\_cmsd.txt (CKeditor の設置手順書)
- fckeditor (※FCKeditor は開発が終了しており、非推奨です)
  - fckeditor.js (ダミーファイル)
  - howtouse\_fckeditor\_for\_cmsd.txt (FCKeditor の設置手順書)
- include
  - ※\*.inc, \*.xsl, \*.php 等のファイル群
- manager.resources
  - ※画像、CSS、JS ファイル群
- test\_images
  - ※テストページ用の画像、CSS 等

**(3) テストページを表示してください。**

インストールが成功しているかどうか確認する為、以下の URL へアクセスしてください。

`http://(あなたのサイトの URL)/testcms.php`

「ようこそ」のページが表示されれば、インストール成功です。

**(4) エラーが表示されたりうまくいかなかった場合は…**

- **Warning** や **Error** などのメッセージが表示された場合は、ファイルが全て揃っているか、ファイルのパーミッションは合っているか、を再度ご確認ください。
- それでも**パーミッションのエラー**が出る場合は、707 を 777 に、606 を 666 に変えて再度試してみてください。
- **PHP のソースコードがそのまま表示されてしまう**、という場合、サーバ側で PHP が有効になっていない可能性があります。
- **画面が真っ白になる場合**、何らかのエラーが発生しているにも関わらず、サーバ側で PHP のエラー表示が「全て抑制」されている可能性があります。php.ini の error\_reporting の設定で、E\_ERROR と E\_NOTICE レベルのエラーを表示するよう設定し、再度お試し下さい。
- **E\_STRICT レベルのエラーが大量に表示される場合**、PHP5.4 以降のサーバで PHP のエラー表示が「Strict Standard レベル」まで表示するよう設定されていると思われます。CMS Designer は PHP4 との互換性の為に、Strict Standard に準拠していないコードがいくつかありますが、正常な動作に影響はありません。このエラーを非表示にするには、php.ini の error\_reporting の設定で  
**error\_reporting = E\_ALL & ~E\_NOTICE & ~E\_STRICT & ~E\_DEPRECATED**  
のように設定して下さい。
- それでも**解決しない場合**、公式サイトของผู้ザーフォーラムまで、お気軽にお問合せ下さい。

**(5) コンテンツ管理画面へログインしてみてください。**

インストールが成功したら、コンテンツ管理画面へアクセスして、ログインしてみてください。

URL は、

`http://あなたのドメイン名/cmsdesigner/manager.php`

です。

ログインユーザーID: admin

パスワード: (なし)

ログイン後は、ユーザー管理画面から admin ユーザーのパスワードを変更するか、新しい「システ

ム管理者用」ユーザーを別途新規追加して、そのユーザーでログインしなおした後、admin ユーザーを削除してください。（※自分自身のユーザーは削除できなくなっています。ご注意ください。）

セキュリティ上、後者をお勧めします。

納入先のお客様用には、「サイト編集者用」のユーザーを追加してそのユーザーID を使用してもらうと良いでしょう（サイト編集者用のユーザーはユーザー管理画面を操作できない為安全です）。ユーザーの追加方法は、リファレンスマニュアルをご覧ください。

## (6) その後は・・・

testcms.php と test\_images フォルダはテストページ用のファイルですので、動作確認後は削除してしまっても問題ありません。残しておいても問題ありませんが、正式運用時には邪魔になりますので、できれば削除した方が良いでしょう。

### ●インストールが成功したら・・・

初めての方は「CMS Designer チュートリアル 1」「2」をお読みいただき、CMS Designer を使ったサイト構築を体験してください。

その後、必要に応じて「CMS Designer リファレンスマニュアル」を参照しながら、ご自身のサイト構築を進めてください。

ご不明な点などは CMS Designer ウェブサイトのユーザーズフォーラムへお気軽にご質問ください。

<http://cms.al-design.jp/>